

和し 鍛え 学ぶ

育ちあう

音楽フェスティバルを2日後に控え、生徒たちは寸暇を惜しんで合唱練習に取り組んでいます。授業と授業の合間は10分しかなく、次の授業準備や教室移動もありますが、「少しでも時間があれば歌おう！」そんな気持ちがどの学年にも広がり、授業が終わると同時に歌声が校舎に響き始めます。（頑張るのは素敵ですがトイレに行く時間もいりますね、お忘れなく）

先週あたりから帰りの時間帯を中心に、学年の垣根を越えて交流し、互いの合唱を聴きあう光景をとても多く目にします。もちろん、同じ学年の中で歌いあう姿もたくさん見ます。



昨年度も合唱に取り組みましたが、学年ごとの行事に合わせて歌ったり、学年単独で合唱コンクールを行ったりしました。このように全校を挙げて合唱に取り組むのはコロナ後初めてです。歌う生徒たちの姿を見ながら「本来の学校の姿が戻ってきた」そんな気持ちを改めてかみしめています。



中学校の3年間は一生の中で最も体が成長する時期です。例えれば、小学生の姿で入学してきた1年生が高校生の姿になって卒業していく、そんな奇跡のような3年間です。

歌声も1年生と3年生で大きく違います。1年生は先輩たちを間近に見て、真剣に取り組む姿や豊かな歌声に憧れて近づこうと努力します。また2年生は、3年生の姿を通して1年後の自分たちをイメージし、先輩に近づきたいと願うと同時にその姿を超えていきたいと思って努力します。3年生は後輩に見られることで最高学年としての立場を自覚し、自分たちに期待される姿を追い求めて努力することで成長します。「後輩と先輩がともに育ちあう学校行事」中学校の行事のあるべき姿がここにあります。今回の取組は11月の体育祭、そして、さらにその先へつながっていきます。

保護者の皆様、明後日の9月27日（金）はぜひ生徒の歌を聴いていただけると嬉しく思います。生徒の皆さん、残り2日の時間を大切に、仲間とともに全力で頑張っていきましょう！